



「PCDタイムズ」とは... 鹿児島市「かごしまパーズプロジェクト事業」内のワークショップ「PLAY CITY! DAYS」(以下PCD)の2023年度プロジェクトチームのうち一つ、「PCD新聞社チーム」が、PCDの活動を通して鹿児島市の魅力を発掘・発信するために作成しました!

マグマシティ PRキャラクター マグニョン. [目次] PCD取り組み概要・各チーム紹介 1・2・3・4面 郡山地域の魅力再発見!サイクリング 5・6面 石谷夢プロジェクト・FACE 7・8面

このおぼとまれ!



2023年12月に開催したDay 3 イベントの集合写真

2023年度PCD 5チーム 鹿児島市を楽しむ

PLAY CITY! DAYS (主催:鹿児島市)は、楽しむを第一に鹿児島市の魅力や課題に向き合う実践型ワークショップです。2019年度から始まり、今回が5年目の取り組みになります。今年度は、参加者40人が「PCD新聞社」「サウナラバーズ」「市電プロジェクト」「火の島暮らし探検隊」「甲突川を遊び場に!」の5

つのチームに分かれて、2023年9月から半年間駆け抜けてきました。イベントを開催したり、たくさんの人と話したり、各チームさまざまな活動をしてきましたが、今年度の活動もそろそろ終わりを迎えます... PCDタイムズ第3号は、新聞社チームの最終号として5つのチーム、鹿児島市の魅力を目一杯お届けします!



新聞社チーム 鹿児島市も取材も楽しむ! 11月: みんなで鹿児島ユナイテッドFCホーム最終戦を観戦... 10月: おはら祭でPCDタイムズ第1号を配布... 9月: 雨の日の平川動物公園へ... 8月: 第1回編集会議... 7月: 取材中! 6月: 松元探検! 5月: 松元支所にて石谷校区まちづくり協議会の取り組みを取材... 4月: 第2号完成... 3月: 松元探検!

メンバーインタビュー PCDを振り返って. さつしー: 知らなかったことも楽しめた半年間! はなみん: 勇気を出して参加して良かったです!! ちーちゃん: 鹿児島市がさらに大好きになりました♡ せんちゃん: 転んでぶつかって。全部成長の証です! みつー: 新たなつながりが、学び全てに感謝! はつき: 高校では新聞部。久しぶりの青春でした ざきのつさ: 賑やかで、熱い編集会議に痺れました~ もりっぺ編集長: 成長と絆と愛と笑いとワクワクに乾杯!

発掘中!!

フォトアルバム



▲さくら市のついでに桜島大根コンテストに



▲編集会議中の一面



▲第1号折り作業

鹿児島デビュー1年生! ななみんの1日. 10:00 市電からスタート! 市電に乗って休日スタート! さまざまなデザインの車両があるので、線路沿いを眺めているだけでワクワクします! 11:00 錦江湾で釣りを楽しむ 鴨池の海づり公園へ! 貸し出しの釣り具もあるので手軽にいけちゃうのも嬉しいポイントです! 桜島を眺めながらのんびり釣りを楽しみました! 14:00 スポーツ観戦! 釣りの後には、白波スタジアムで鹿児島ユナイテッドFCの試合を観戦! お昼ご飯はスタグルに決まり! 19:00 城山から鹿児島を堪能! 1日の終わりにはカゴシマシティビューで観光しながら夜景を堪能! バスガイドさんによる素敵な解説付きです!

編集後記

皆さん、この新聞を手にとっていただきありがとうございます! 大学生から社会人まで、多様な人が集まっていたチームでしたが、お菓子片手にたわいない雑談をしながら編集会議をしたり、みんなでカフェスポーツ観戦に行ったりするうちに、チームを超えた絆が生まれました。私にとってかけがえないメンバーです。私たちの独自の目線での鹿児島の魅力が、皆さんに届いてくれると嬉しいです。この新聞は最終号となってしまいますが、PLAY CITY! DAYSはまだまだ続いていきます。これからも応援よろしくお願いします!

読者アンケート実施中! PCDタイムズの感想をお寄せください。今後の活動の参考にさせていただきます。

好きな鹿児島市は? 2023年度のPCDタイムズは、今回が最終号。最後に新聞社チームメンバーが好きな鹿児島市を紹介! ちーちゃん: 錦江湾海上で澄んだ空気と絶景に感動します! はなみん: 磯海水浴場から眺める桜島がお気に入りです! なつき: 街中にある、開放的な雰囲気の図書館です! みつー: 湯之平展望所からの市街地自然と都市の融合! せんちゃん: 城山は観光だけじゃない! お散歩もオススメ! もりっぺ: 大好きな鳥刺しと芋焼酎でだいやめ(晩酌)! ざきのつさ: 鴨池球場は球児たちのドラマの舞台! 緑も素敵!



笑顔溢れる探検隊メンバー



「ぼるけいの神社」の鳥居！

マルシェに突如出現した「ぼるけいの神社」には、桜島地域の魅力と探検隊メンバーの温かさが詰まっていた。

探検隊のメンバーが開いたブースは、桜島地域の魅力をこれでもかと体感できるワークショップ「ぼるけいの神社」だ。ユニークなことに、おみくじは「桜島小みかん」そのもので、スタンプは「桜島大根」を削って作られている。さらに、絵馬には可愛らしい桜島大根がデザインされており、桜島地域の魅力に触れながら、思いを書き込んでもらうスタイルだ。

加えて、鳥居もメンバーの力作だ。雰囲気を出そうと、突貫工事で、完成させた。押川隊長は「みんながやりたいことを全部詰め込んだんですよ」と満面の笑顔だ。探検隊メンバーも「最初は、普通のおみくじを考えたんですが、小吉を引いた人はさみしいよねって、今のスタイルをみんなで作り上げたんです」と胸を張る。

マルシェに突如出現した「ぼるけいの神社」には、桜島地域の魅力と探検隊メンバーの温かさが詰まっていた。

桜島 チーム マルシェに出現！ ぼるけいの神社！

おっしーこと、押川隊長率いる「火の鳥暮らし探検隊」は、令和6年1月27日に開かれたマルシェイベント「第1回さくら市 SAKURAJIMA Local Marche」にブースを開設した。

③特製絵馬

キーワードにちなんでお願いを絵馬へ！

②スタンプ

スタンプされたキーワードをチェック

①おみくじ

桜島小みかんのおみくじを引く！

③特製絵馬

キーワードにちなんでお願いを絵馬へ！

②スタンプ

スタンプされたキーワードをチェック

①おみくじ

桜島小みかんのおみくじを引く！

甲突川 チーム

リバーサイドフェスで 分かった！

「川とモルックを愛し 川とモルックに愛されている。」

このチームを語る上で大事なフレーズに新たなキーワードが追加された。それは、モルックだ。11月に初めてみんなでモルックを遊んで以降、モルックの子供でも楽しめるという競技性に惹かれてみんなハマっていった。その結果、12月と1月のリバーサイドフェスにフォトブースとモルック体験ブースの二刀流で出店した。

1月のモルック体験ブースで、メンバーがモルックを楽しむ光景はもちろんあったが、特に記者の目を引いたものがあった。それは、近くを通りすがった様々な人にモルックを楽しんでもらっていたことだ。小学生や高校生などの若い人から年配の方、外国から鹿児島に来られている人がいた。

マグニオン2体でお迎え

モルックした後に集合写真をパシャリ

フォトスポットはクリスマス模様

モルック中、何本倒れるかな？

川沿いをみんなで歩いた！

サウナ チーム



サウナチームの皆さん



オクタゴンサウナ体験

サウナへの愛が溢れるゆえ、時々巷のサウナの中でもお互い遭遇するというサウナチームの皆さん。あくなき探究心は止まることを知らず、オクタゴンサウナという八角形の筒状サウナブースの体験や、吉野町のカフェでのサウナイベント企画などを実施。「とこのうー」という化学反応がチームの熱量をさらに加速させています🔥

Hot まだまだ止まらない！サウナ愛

市電サウナはしご旅



InstagramへのVLOG投稿

さらにその日の様子を伝えるリアル動画をチームのメンバーが製作！インスタグラムからぜひご確認ください！



湯上がりのコーヒー牛乳とマグニオン

1月には「市電でサウナはしご旅」として、市電で訪れることができる、サウナのある温泉施設を巡りました。サウナの魅力だけでなく、施設ごとでいろいろな特徴があること、新しい楽しみ方を発見できました。



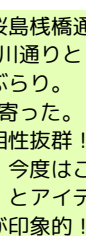
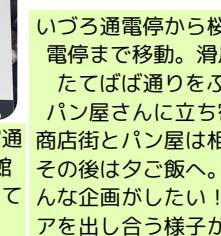
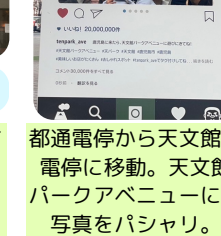
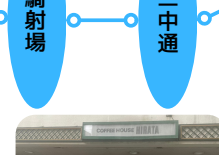
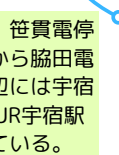
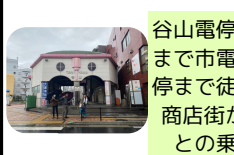
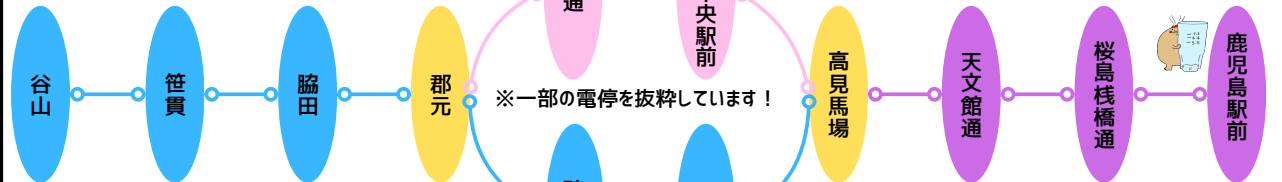
錦湯へ向かう様子

市電で商店街巡り

市電旅、実は結構歩くんです

市電チームでは、12月のとある土曜日に市電で行くことのできる商店街の魅力を発信しようと、商店街巡りを行った。スタートは谷山電停。雨の中の市電旅であった。

均一運賃 大人：170円
小児：80円
1日乗車券大人：600円
小児：300円



郡山地域の魅力再発見！サイクリング

11月のとある土曜日、PLAY CITY! DAYS 2023の有志メンバーで、鹿児島市郡山地域のスパランド裸・楽・良へと向かった。なんでも、お得に美味しいご飯が食べられ、レンタルサイクルで郡山の名所を巡ることができ、温泉に入ることができるとのこと。

そんな魅力的な休日を本当に味わえるのか・・・？ 現地調査を行った。
※記事の中での「自転車」は「電動アシスト付自転車」を指します！



⑥八重の里

再び自転車に乗り、坂をひたすら上ると、野菜や惣菜を手に入れられる、八重の里にたどり着いた。記者はこちらでさつまいものクリームが入ったパンを購入。疲れた体に糖分が染み渡る。

⑦ゴール スパランド裸・楽・良

そして、最後は下り坂をスイスイ下り、スパランド裸・楽・良に戻ってきた。

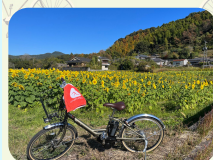
無事に自転車を返却！ 締めはスパランド裸・楽・良の温泉に入った。バリエーション豊かな湯にロウリュが楽しめるサウナもあり、疲れた体を癒すことができた。

①スタート スパランド裸・楽・良

お昼時、記者を乗せたバスはスパランド裸・楽・良に到着した。まずは昼ごはん！ 記者は唐揚げ定食を注文した。1個1個が、大きく食べ応えがある。また、ご飯バイキング付きとのことで、炊き込みご飯やちらし寿司などから選ぶことができた。

お腹を満たした後は、自転車をレンタルして郡山を散策する。受付でサイクリングマップをもらった。

19.6kmの道のりを行く、中級コースに挑戦した。いざ、スタート地点のスパランド裸・楽・良を出発！ 電動アシスト付自転車ということもあり、緩やかな坂であればスイスイと進むことができる。まず見えてきたのはひまわり畑。通常夏に咲いているひまわりが、11月に元気いっぱい咲いている姿は圧巻だった。



八重の里



スパランド裸・楽・良



⑤花尾かくれ念仏洞

自転車を止めて、階段をひたすら上る。すると、山奥に小さな洞窟があった。薩摩藩で浄土真宗の信仰が禁止されていた時代、信者はこの洞窟で、ひそかに信仰を続けていたのだそう。長い急斜面の階段を下りながら、当時の人々の苦勞を感じた。



花尾かくれ念仏洞

④花尾神社



花尾神社

③一之宮神社

一之宮神社には大きな木が生い茂っている。取材日は木漏れ日も差し込み、パワーをもらった。



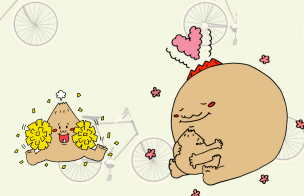
②川田橋

ひまわり畑から少し自転車を進めると、川田橋がある。明治34年に架設された2連アーチ式のめがね橋で、平成5年の8・6水害にも耐え、唯一残った石橋とのこと。近くにはイチヨウの木もあり、まるで映画の中のような風情のある景色だった。



調査結果

- 記者が体験した際は、食事・レンタル自転車・温泉のセットを2,000円で楽しむことができた。
- 鹿児島市内に居ながら、豊かな自然を感じられ、美味しいごはん気持ちよい温泉で大満足だった。



石谷夢プロジェクト
～これまでの軌跡～

2023年5月 「石谷夢プロジェクト」発足



2023年9月 史跡巡りイベント実施



2024年1月 東川隆太郎氏による講演会

松元公民館（上谷口町）にて東川隆太郎氏による町田久成について語る講演会も開かれた。



2024年2月 ふれあいフェスタIN石谷での発表

石谷小学校の5年生たちと町田久成の周知活動について考える授業を実施しており、町田久成の焼き印をあしらったお菓子を作りたいなどの小学生らしいユニークなアイデアが多くあがったり、町田久成の年表をカレンダーに落とし込んだものを制作したりした。2/18に開催された地域の催し「ふれあいフェスタIN石谷」では授業を受けた小学生たちがその成果を舞台上で発表。また、松陽高校美術科の生徒が考案した町田久成のキャラクターデザインも発表された。



PRキャラクター まっちゃん君



和服バージョンと洋服バージョンがあります！

町田久成が大河ドラマに出るとなった時に、ここに観光バスが来て、いろんな方が来て、地域を見てもらえる、みんなに語り部になってもらう！そして松元地域の住民の交流が生まれれば！

PCD新聞社チームメンバー有志で松元地域を探検してみました！



ふれあいフェスタ in石谷の様子
石谷夢プロジェクトの展示もありました！

石谷小学校5年生の児童が制作した壁新聞

夢は大きく大河ドラマ！ 今アツい松元地域

鹿児島市石谷校区で、未来を照らすプロジェクトが始動した。その名も、「石谷夢プロジェクト」これは、石谷町にゆかりのある「町田久成」を起爆剤とし、その人となりや功績を地域の絆づくりに生かすべく、昨年5月、「石谷校区まちづくり協議会」が立ち上げた。今回は、その会長である木之下俊朗さんに、インタビューした。



「若き薩摩の群像」一番上が町田久成です

プロジェクトが始まるきっかけは何だったのですか？



5-ちゃん

地域の結束力を高めたいと思ったからです。松元は、住宅地の整備が進み、人口は増加傾向にあります。一方で、平成の大合併（平成16年）以後、元々松元に住んでいた人たちと、新しく住み始めた人たちとのコミュニケーションが希薄化しています。そのため、近年は、町内会加入世帯が減少してきているのです。



木之下さん

それによって、どのような影響があるんですか？



5-ちゃん

まちの子どもたちの安全性を守れないことに繋がってしまうんです。子どもたちを地域で育てるためには、まち全体として、各家庭の子を認識し、地域のつながりを強くする必要があります。そこで、人々の交流を生み出せたらと思い、このプロジェクトを始めました！



木之下さん

なるほど…それが、地域の絆に結びつくんですね！では、プロジェクトの大きなねらいは？



5-ちゃん

石谷校区や町田久成の知名度を高め、プロジェクトを通じて、人々の心の距離が密接になり、松元地区が盛り上がっていくことです！



木之下さん

プロジェクトが人と人とを繋ぐ、接着剤のような役割になるのですね！



5-ちゃん

ズバリ！木之下さんの最終目標は？

町田久成を大河ドラマに出演させることが、私たちの目標です。とはいえ、今は町田久成や石谷夢プロジェクトを知ってもらい、地固めの時期。いまできることを、積極的に実践していきたいと思っています。



木之下さん

石谷校区の益々の盛り上がりを楽しみですね！本日はありがとうございました！



5-ちゃん

松元の未来を思い、「いま」に全力投球されている木之下さん。その情熱と信念に胸を打たれた。今後さらなる発展をみせてくれる松元から、目が離せない。



鹿児島市松元地域について

松元地域は鹿児島市の西部に位置している。平成16年まで「松元町」だったこの地域は、今年で鹿児島市と合併して20年目を迎える。人口は、約1万7千人である。住宅地の整備が進んでおり、人口が増加傾向にある地域である。お茶が特産物である。

石谷校区まちづくり協議会について

鹿児島市では、市内全79校区において地域コミュニティ協議会が設立されており、その一つが「石谷校区まちづくり協議会」である。令和5年からは、「歴史に学び 仲間づくり 新しい創造 ワクワク石谷【町田久成「を」学ぶ】ではなく【町田久成「で」学ぶ】をスローガンに活動している。石谷の歴史になくならない人物、東京国立博物館初代館長「町田久成」の生き方や功績をまちづくりに生かさないかと考え、このスローガンにたどり着いた。

町田久成について

石谷町ゆかりの町田久成は東京国立博物館の建設に尽力し、初代館長を務めた。天保9（1838）年生まれ。1865年「薩摩藩英国留学生」の監督として、イギリスを訪れ、大英博物館などを見学し、感銘を受けた。慶応3（1867）年に帰国後、文化財の破壊や海外流出を残念に思い、博物館建設や文化財の保護などについて進言した。博物館の館長を辞した後は、滋賀県で就職となった。明治30（1897）年没。鹿児島中央駅東口にある「若き薩摩の群像」の一番上に像が設置されている。

参考文献：第二次かごしま都市マスタープラン・薩摩藩英国留学生記念館ウェブサイト「薩摩藩英国留学生の歴史」
鹿児島県総合教育センターウェブサイト「小学校道徳資料『博物館開設にさげた一生』-町田 久成-」
「若き薩摩の群像」整備事業